

Shall we?

男女で共に考える、私たちのこれから

三鷹市
男女平等参画啓発誌

2020年
vol. 71

やったよかった?
困った?

私 × テレワーク





やってよかった?

困った?

私



テレワーク

近年、働く場所の制約を受けない柔軟な働き方として注目されてきたテレワークは、コロナ禍の外出自粛で急速に普及しました。

テレワークは従来、家事・育児と仕事の両立がしやすく、男性の長時間労働の削減にもつながるといわれてきましたが、休校や休園を伴う緊急事態宣言中の実態はどうだったのでしょうか。

今号の『Shall we?』では、テレワーク経験のある市民のみなさんからの声を多数お寄せいただきました。多様化する働き方が私たちの生活にどのような影響や新たな気づきをもたらしたのか、ジェンダー平等の視点から一緒に考えてみましょう。

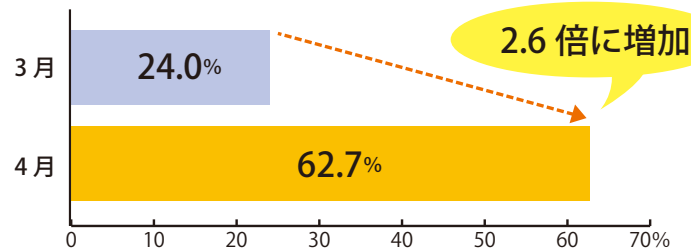
コロナ禍の動き

- 3月2日 全国の小・中・高校で臨時休校
- 4月7日 東京を含む7都府県に緊急事態宣言
- 5月25日 東京を含む全国で緊急事態宣言解除

1 コロナ禍で急速に広がったテレワーク

東京都が行った調査によると、従業員30人以上の都内企業で3月時点では24.0%だったテレワークの導入率は、4月になると62.7%へと大幅に増加しました。また、4月にテレワークを実施した社員の割合は平均で約5割(49.1%)に上り、1か月間の勤務日(約20日)のうちテレワークを行った日数も、3月の4.2日から4月は12.2日へと増えています。

都内企業のテレワーク導入率



出典：テレワーク「導入率」緊急調査(東京都 2020年)

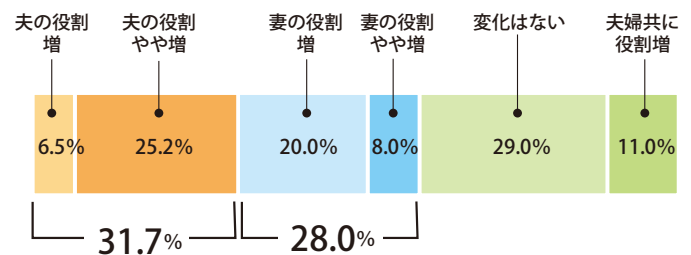
2 家で過ごす時間が増えた男性の家事・育児分担は…

内閣府が5~6月に行った調査で、「夫の働き方に変化があった」と回答した妻に夫婦間の家事・育児分担の変化について尋ねたところ、夫の役割増・やや増(31.7%)、妻の役割増・やや増(28.0%)、変化はない(29.0%)がいずれも3割前後に分散し、残りの約1割が夫婦共に増えたと回答しています。ステイホームでテレワークや時短勤務などを行って増えた家族と過ごす時間を、家事・育児に充てた男性も一定数いますが、自分の負担が増えたと思っている女性も同程度いるという結果が出ています。

また、民間の調査ではコロナ禍で「手洗い・うがいの呼びかけ」「マスク・消毒液の補充」など、新たな「名もなき家事」が増えているという指摘もなされています。

夫婦間の家事・育児の役割分担の変化

(夫の働き方に変化ありと答えた女性(妻)の回答)



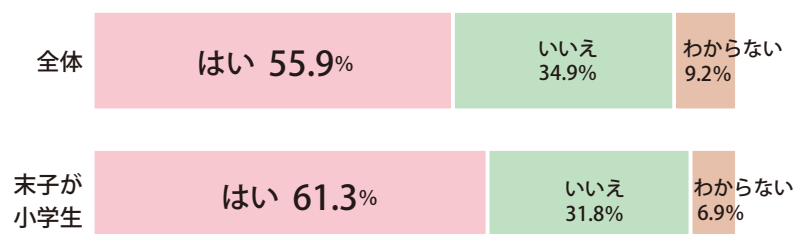
出典：新型コロナウイルス感染症の影響下における生活意識・行動の変化に関する調査(内閣府 2020年)

3 子育て男性の意識に大きな変化の兆し

一方、②と同じ内閣府の調査で子育て中の人に感染拡大前と比べた家事・育児への向き合い方など「意識の変化」を尋ねた設問では、男性の55.9%が「変化があった」と答え、特に末子が小学生以下の人に限ると6割以上が変化を感じています。臨時休校・休園の影響を大きく受ける子育て世代の男性の間で、これまで以上に家庭に目を向ける意識が高まっているようです。

家事・育児への向き合い方の意識

(「意識に変化はありましたか」という質問に対する男性の回答)



「我が家のステイホーム&テレワーク体験」

ITツールを活用しながら行う、夫婦そろってのテレワーク

私は音楽大学の教員で、4月からオンライン授業を週4回担当しています。そのほかにも、音楽関連の研究グループの活動や英会話教室の学習サポートをネット上で行っているため、毎日がテレワークです。外資系IT企業に勤める夫も、3月からずっと自宅で仕事をしています。

以前から、私ที่บ้านで授業の準備をしたり、夫も海外の本社と朝一や夜中にオンライン会議をしたりすることも度々あって、子どもたちは親が家で仕事をするに慣れてきたと思います。ですが、ステイホームでそれが一日中かつ長期間になると、ひょこっと部屋に入ってきて甘えてきた



まいさん
38歳 大学教員



せいごうくん
8歳



夫
だいぜんさん
41歳 会社員



ひでとしくん
6歳

りもするので、そこはうれしい反面、大変でもありました。それで、子どもに「仕事」と書いた看板を作ってもらい、ドアにかけてあるときは部屋に入らないという約束にしました。でも、私と夫の両方がドアを閉め切って授業や会議をしている状態は避けたいので、ITツールを使ってスケジュールを共有し、お互いの予定を調整することにしました。Googleカレンダーで家族4人の予定がひと目で分かるようにして、調整や確認事項はチャットツール「Slack(スラック)」で連絡を取り合っています。あとは、タスク管理ツール「Trello(トレロ)」でやるべきことの進捗を把握できるようにしています。

このコロナ禍で試行錯誤しながら授業をしてみて、少人数のゼミ形式の場合はオンラインの方が適しているとも思いました。対面でもオンラインでも、適切な理由をもってよりよい方法を選んで、状況に合った働き方ができたら望ましいと思います。でも、柔軟に働き方を選べるということは、成果主義で評価されるようになることでもあるので、まだ指示待ち型が多い日本の働き方自体を変えるのと並行して進めていく課題なのだと思います。まずは、個人が新しいツールに抵抗感を持たずに、便利なものは積極的に使いこなしていくことが大事ではないでしょうか。

妻が毎日出社する中、テレワークをしながら家事・育児に奮闘

我が家の場合、私は3月から週5日テレワークを行い、現在も週3日ほどの割合で継続しています。ですが、サービス業の会社に勤めている妻は毎日出社しなければならず、ステイホーム中の昼間は、登園自粛で家にいる子どもの世話と仕事を、私が一人で行うことに。元々、家事は妻と半分ずつ分担していたのですが、子どもを見ながら仕事をするのはやってみると大変で、最初は少なからず困惑することもありました。

例えば、オンライン会議を始める直前に子どものおむつを替える必要に迫られたり、会議中にぐずったりしたこともありました。高額な契約交渉のメールを送信する前に何度も読み返して内容を確認していたら、子どもが「ねえ、お父さん！」と私の右手をつかんだ反動でクリックして送信してしまったことも…。そのときは冷や汗をかきましたが、躊躇しているところを、子どもが背中を押してくれたのだと前向きにとらえることにしました(笑)。

そんな状況だったので、子どもの昼寝中や妻の帰宅後に仕事をしたり、同僚に家庭の状況を伝えて理解を求めるなどの工夫が必要で、ステイホーム中のテレワークはなかなかハードルが高い経験でした。でも、毎日子どもと接する時間を長

く持てるのは、普通の通勤生活では味わえない幸せな時間でもあり、父親としての育児参加やライフ・ワーク・バランスについて考えるきっかけにもなりました。

職種や業種にもよりますが、出社とテレワークを組み合わせさせた柔軟な働き方がもっと当たり前になればいいと思います。そのためには、電子化が認められない押印など、出社しなければできない業務や制度の障壁を社内からなくしていく必要があります。また、こうした取り組みを一企業だけではなく、取引先なども含めた社会全体で進めていくことが重要だと感じています。



妻
まどかさん
35歳 会社員



たくまくん
2歳



ようすけさん
37歳 会社員

自身がテレワークを行った(あるいは同居する家族が行った)という市民の方に、テレワーク中の家庭生活や仕事についてよかったこと・困ったことなどの感想をうかがい、女性・男性、独身・既婚の属性別にマッピングしてみました。さまざまな感情が交錯するコメントの数々からは、テレワークの魅力や可能性とともに、今後テレワークを続けていくうえでの課題も見えてきます。

夫と息子(会社員)がテレワークを行って、宅配便の受け取りや急な雨でも洗濯物を取り込むことができた。契約社員の私は、正社員の多くが在宅に移行する中、職場の規定でテレワークが認められず、家事の負担が夫と息子に偏ってしまった。
(けいこさん・52歳)



夫婦共にテレワークで夫が家にいる時間が長くなったので、家事の分担を増やしてくれて楽になった。子ども(10歳・6歳)がオンライン会議に乱入しがちだけれど、かえって場が和んだりコミュニケーションが円滑になることの方が多い。
(ゆみさん・42歳)

夫の通勤時間が長いので、週に数回夫がテレワークをするようになって、朝に急ぐことや夕飯の時間が遅くなるのが減った。
(なおこさん・60歳)



2人目の子どもの出産と夫のテレワークの時期が重なり、臨月や出産直後をみんなで家で過ごせたのは安心だった。
(めぐみさん・36歳)

テレワークだと朝早く出掛けなくてよいけれど、家事の負担が増えたり、家に夫や子ども(17歳)がいると仕事やりづらく、集中できない。
(ようこさん・60歳)

既婚女性からはバリエーションに富んだ回答が寄せられましたが、テレワークのよい点・困った点のいずれも同居する家族とのバランス次第という傾向が見られます。

私の場合、テレワークのできる業務は限定的だが、事務はセキュリティが万全であれば在宅の方がはかどると思った。小さい子どものいる同僚は、夫婦でテレワークでも女性の負担が多く大変そうだった。
(ともこさん・57歳)

既婚

通勤時間がなくなった分、子どもと過ごす時間が増えてよかった。でも、子ども(6歳・4歳)の寝かしつけの時間やお風呂の時間と勤務する時間が重なって困った。(ひでさん・39歳)

通勤のストレスがないし、テレワークでも十分に仕事ができるようになった。それに、地元のことがよく分かるようになった。だが、オンライン会議をする際には、家族との時間調整が必要。
(ようじさん・64歳)

仕事部屋がないのでリビングで仕事をせざるを得ず、集中しにくかった。でも、これから仕事の仕方が変わっていくと感じた。
(りつきさん・37歳)

テレワークをしたことで、家族で一緒にいる時間が増えたのはよいが、子ども(2歳、4歳、7歳、10歳)が小さいので仕事の時間を確保することが難しく、高齢の両親に感染させることがあってはならないと気がついた。(たくみさん・36歳)



保育園が休園する中で夫婦共にテレワークをすると、常に妻か私のどちらかが子ども(2歳)の面倒をみなければならず、絶対的に時間が不足している状況で業務をすることになった。(ともあきさん・28歳)

小さな子どものいる既婚男性からは、休園・休校を伴うテレワークの難しさを訴える声があった一方、子育てを終えた世代の男性からは、テレワークを前向きに評価する声も寄せられました。

男性

あなたはこうでしたか？

テレワーク体験・感想マッピング

女性

テレワークだと通勤のストレスがなく、時間が自由に使える。ただし、光熱費や食費は増えますが…。

(ともみさん・45歳)

体調が少し悪いと思ったとき、すぐに横になれるのはよいけれど、オンとオフの切り替えが難しい。

(ゆうこさん・27歳)

テレワーク中によかったのは家族と一緒に食事をする機会が増えたこと。しかし、子ども(1歳)が寝た後にオンライン会議をする場合、小声で話すなどの配慮が必要だった。

(あきこさん・46歳)

ストレスフルな通勤時間がなく、短時間でできる家事をテレワーク中の気分転換に行えるので、週末や朝夕に自由な時間が増えて、生活にゆとりができた。

(ようこさん・63歳)

飼い猫と一緒に仕事ができ楽しかった。でも、上司や同僚に気軽に仕事の相談ができないのは困った。

(のりこさん・42歳)

私と夫がテレワーク、子ども(大学生)がオンライン授業で、家族全員が一日中自宅で仕事や学業をしているため、気持ちが落ち着かない。

(ゆうこさん・51歳)

独身の女性はテレワークのよさとして、時間的なゆとりと自由度の高さを挙げる人が多い傾向です

独身

テレワークによって混雑する電車での移動ストレスが減ったし、無駄で不本意で冗長な会議や集まりが少し減ったように思う。合理的に物事が進むようになったのはよいと思う。人と直接会う機会が減ったのは、少しさびしいけれど。

(Oさん・37歳)

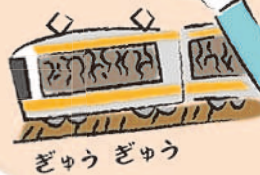
在宅でも定時の午前9時から午後6時までパソコンの前に拘束された状態で、運動不足になった。昼の休憩時間も昼食を準備して食べてと慌ただしく、出社しているときよりも休めなかった。

(Yさん・24歳)

通勤や外出にかかる移動時間がなくなったのがよかった。

(こげさん・40歳)

通勤ストレスからの…



解放!!

よかったのは自炊する時間が増えたこと。困ったのは仕事に集中しにくくなること。

(オウさん・34歳)

家事に充てられる時間が増え、暮らしと向き合うことが増えた。シェアハウスに住んでいるので、みんなが一日家にいるとキッチンなどの利用時間が限られてしまうのが難点。

(たいしさん・27歳)

テレワークをやってよかったのは、親との会話が増えたこと。ただ、ほとんど出勤せずに済む人とそうでない人がいるのは不公平だと思う。

(なおとさん・35歳)

移動時間がないことによる時間の余裕をメリットとして挙げた独身男性が複数いる一方、勤め先のテレワークの運用方法によってはメリットをあまり感じられないケースもあるようです。

新たな働き方・暮らし方の実現を機に 真の男女平等参画社会実現へ

株式会社野村総合研究所未来創発センター上級コンサルタント
武田佳奈さん



◆ ◆ ◆ コロナ禍が改めて明らかにした 男女平等参画社会実現への課題

新型コロナウイルスの感染拡大を機に在宅勤務で働く人が急増しました。以前よりテレワークの活用は女性活躍や両立支援の切り札として期待されてきました。コロナ禍で急増した在宅勤務は、共働き世帯、特に子育て期の共働き世帯が仕事と家事や育児を両立するうえで抱えてきた問題の解決につながったのでしょうか。

筆者が5月末に実施した調査では、在宅勤務を行った子育て期の男性の約半数が「家事の量や育児の量が増えた」と回答しました。男女平等参画社会の実現に向け、男性の家事・育児時間の増加が長年の課題であったことを考えれば、働き方が変わるだけでも、これまでより多くの家事や育児を担える男性が増えることが分かった意義は大きいでしょう。

一方、半数近くは在宅勤務ができて家事や育児の量は変わりませんでした。臨時休校・登園自粛などにより、通常よりも増えた家事・育児の負担も含め、主に女性が担った家庭は決して少なくありませんでした。

共働き世帯が珍しくなくなったといわれませんが、本当に支え合って仕事と子育ての両立ができて共働き夫婦はどのくらいいたのか、共働きといっても「名ばかり共働き」ではなかったのかを改めて問うことになったのもこのコロナ禍だったと考えます。「名ばかり共働き」のままでは、今後、在宅勤務などを活用した新しい働き方が日本に定着したとしても、家事・育児負担が女性に偏重している事態の克服は難しいでしょう。

◆ ◆ ◆ 日本の現役世代を取り巻く環境変化が もたらした女性も働く理由

そもそも、共働き世帯の増加は就労環境の整備や個人の意識変化の結果でもありますが、妻も就労して世帯収入を補う必要を感じる世帯が増えた結果でもあります。世帯主の収入は1997年をピークに減少を続ける中、晩婚・晩産化、進学率上昇なども影響して家計支出のピークは後ろ倒しかつ長期化しています。これらを背景に現役世代に生じている経済的不安感の強まりは、消費抑制による経済停滞や少子化の原因の一つだとされています。

しかし、妻が就労しても経済的不安を払拭させるに十分でないことも少なくありません。未だ共働き世帯の6割が雇用と処遇が不安定なこと、多い非正規雇用を含む共働き世帯だからです。

経済的不安を解消する手段として、希望する夫婦においては、夫婦共にできるだけ安定した雇用と収入を得られる共働きを実現、継続できることが有効となります。筆者はこの共働きスタイルを「共働き2.0」と呼び、希望する夫婦が過度な負担なく「共働き2.0」を実現、継続できる社会づくりがこれからの現役世代の長期的な家計の安定、ひいては国が抱える課題解決に有効だと考えています。

◆ ◆ ◆ コロナ禍を機に互いの仕事と生活を 共に支える「真の」共働きへ

希望する夫婦が「共働き2.0」を実現できる社会になるためには、「名ばかり共働き」が、互

いの仕事・キャリアと家族生活それぞれを共に支え合う「真の」共働きへと移行する必要があります。

先に紹介した調査では、新型コロナウイルス感染拡大以降、家族で過ごす時間が増えた人は7割にのびりましたが、配偶者と今後の働き方や暮らし方を話し合う時間が増えた人は3割強で、7割近くは話し合いが増えてはいませんでした。

コロナ禍で増えた家庭での時間を、夫婦でどのような共働きスタイルを実現することがそれぞれの希望により近づけるのか、そのためには互いにどのように支え合っていけばいいのかを改めて話し合う機会として有効に活用してはどうでしょうか。

今般の新たな働き方・暮らし方の実現が契機となり、希望する夫婦が互いの仕事と生活を共に支える「真の」共働きを実現できるようにすることは、男女が対等なパートナーとして各々能力を発揮できるという男女平等参画社会の実現にもつながるでしょう。

Profile

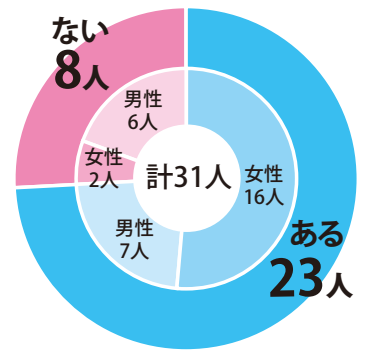
武田佳奈(たけだかな)

2004年、株式会社野村総合研究所入社。以来、官公庁の政策立案支援、民間企業の事業戦略立案や新規事業創造支援などに従事。2018年4月より現職。専門は、労働政策、女性活躍推進、働き方改革など。著書に「フルキャリアマネジメント 子育てしながら働く部下を持つマネジャーの心得」(東洋経済新報社)などがある。

市民のみなさんに聞いてみました

性別による決めつけにモヤッとしたことはありますか？

「女(男)は〇〇だ」「男(女)なのに〇〇だ」といった性別による決めつけに違和感を感じた経験の有無を尋ねてみたところ、男女を問わず「ある」が多数でした。無意識の思い込みや決めつけをなくしていくことで、身近な地域や社会は、誰にとっても息苦しさのない風通しのよいものになるはずです。



ある

「男性は育児をする褒められていいですね」とか、「パパなのに育児頑張ってますすごい!」と言われる。
(まつぼっくりさん・20代男性)

ある

1人でラーメン屋へ行ったことを男性の友人に話したら「女なのに1人でラーメン食べるのか?」と言われて腹が立った! (そらさん・50代女性)

ある

育休を取ったり、家事でお休みを取ったりしている人に対して、何となく冷ややかな目線を感じたとき。
(M.Tさん・20代男性)

ある

子どものころ「女の子だからお料理ぐらいできない」と、親に言われた。
(直美さん・20代女性)

ある

会社で朝、女性社員だけで回しているコーヒー当番があった。
(ひろみさん・30代女性)

ない

僕の生きている世界の中では、あまり男性だから、女性だからという意見を持つ人が少ない気がします。
(K.Yさん・30代男性)

ある

特にNHKの朝の連続テレビ小説のセリフが顕著。
(Y.Hさん・50代男性)

ある

ある国際シンポジウムで、議事運営に関係ない若い女性が複数ホステスのな役割をしていて、残念な感じがした。
(H.Mさん・50代女性)

ない

性別に関する発言は、受けた記憶が最近ない。
(Sさん・30代男性)

ある

一番問題だと思うのは、幼稚園での刷り込み。選択肢を狭める教育がまだ綿と続いている。
(Yさん・40代女性)

ある

夫と一緒にクリニックへ行ったとき、「今、仕事していますか?」と私には聞くのに、夫には聞かなかった。
(Mさん・30代女性)

ある

「女性ならではの視点」という言葉を見聞きすると、それが偏見なのか褒め言葉なのか分からずにモヤッとする。
(K.Yさん・40代男性)

ある

婚姻届を出すとき、話し合って同意を得るプロセスなしに、当たり前のように女性が姓を変えられたこと。
(E.Tさん・50代女性)

ある

保護者を「父兄」と呼ぶ人が残っている。町会に残っている「婦人部」の組織(紳士部はない)。
(Y.Kさん・50代女性)

ある

就職活動中の知人が総合職でエントリーしたある企業に「総合職の説明会は男性向けだから」と言われた。
(匿名さん・30代女性)

ある

会社で「この部署のお母さんとしてみんなの面倒を見てほしい」という業務の与えられ方をしたとき。
(O.Yさん・50代女性)

ある

女子力と言うとき、フェミニンなスタイル、家事スキル、繊細な気遣いなどを指すことが決めつけだなあと思う。
(T.Kさん・40代女性)

「Shall we?」

第70号特集
「五輪とジェンダー」に
寄せられた
読者の声

●「探し続ける平等のあり方」という副題のとおり、まだまだ課題はあるけれど、これまでの努力が実を結びつつあるという進歩がうかがわれました。
(K.Mさん 70代・男性)

●スポーツをする女性が見た目で評価されたり、不要なハンディをつけられたりせずに、純粋に「体を動かしたい」という思いだけでスポーツを楽しめる日が来るといいな…と思います。
(Sachiさん 40代・女性)

●ネットでバックナンバーが見られてよいです。男女平等に少しでも近づけるようにと思います。充実している冊子で次号も楽しみです。
(美佐子さん 90代・女性)



相談の秘密は守ります。安心してご利用ください

こころの相談室相談員

相談にいらした方から「話したことが誰かにもれたりはないか」「予約のときにいろいろ聞かれて戸惑った」「市役所に知人がいるので伝わってしまうのでは」といった心配の声を聞くことがあります。しかし、相談で話した内容が、外に知られることはありません。

市役所の相談・情報課で予約を受ける際に、相談の内容を簡単にお尋ねするのは、市が行っているさまざまな相談事業の中で、最も適切と思われる窓口をご案内するためです。また、相談者の名前が相談内容と一緒に他の部署に伝わることはありません。

私たち相談員はもちろん秘密厳守ですが、お話を聞いたうえで、悩みを解決するために他の部署を紹介することもあります。例えば、DVで避難を希望される方には婦人相談員、子育てに悩まれているときは子ども家庭支援センター、うつ病や依存症の家族への接し方であれば保健センターなどです。また、離婚を考えている方は、法律相談を受けて離婚の手続きや妻の権利を知れば、今後の方向性を決めやすくなるかと思えます。いずれの場合も相談する方が希望された場合のみ、内容を担当者に直接伝えます。市の相談は無料で

すから、ぜひ利用していただきたいと思います。

秘密が守られ、批判されることなく、安心して悩みを語ることができれば、人はこれからどのようにしていきたいのかを決める力を持っています。「こころの相談」ではさまざまなサポート制度などを紹介しながら、そのような場を提供していきたいと思っています。

●こころの相談室（女性向け） ※事前予約制

専門の相談員がお話をうかがい、一緒に解決の糸口を探します。

相談日時：毎週木・土曜日午後1～5時

利用方法：平日午前8時30分～午後5時に相談・情報課（市役所2階☎0422-44-6600）へ直接または電話でご予約ください。

●こころの相談ダイヤル ※予約不要

カウンセラーが電話で相談に応じます（1人につき30分まで）。

相談日時：第2火曜日午後1時～4時

第4火曜日午後5時～8時

利用方法：相談員直通電話☎0422-29-9864へお電話ください。



編集後記

生意気にも私は若い頃「満員電車に乗らずに済むこと」が仕事を選ぶ基準でしたが、これからは「テレワークできる仕事か」が基準になるかもしれません。より環境が整備されれば、個人の生き方に合わせた就業機会の創出につながると思います。（荒武一紀）

今号から市民編集委員として携わることに。男女平等参画啓発というテーマにまったく明るくないのですが、だからこそできる範囲で広く多くの方たちに意見を聞いて、学びながらも自分の感覚でご協力したいと思えます。（石井将直）

テレワークの理想と現実が、男女平等の新しい幸せな働き方を見出してくれた気がします。これを機にジェンダーバランスの実現へ向け、メリット・デメリットを見直し、改善する方向へ社会が動いてくれることを望みます。（島田さとみ）

コロナ禍はテレワーク推進の起爆剤となりました。突然の導入で戸惑いはあったものの、男女ともに柔軟な働き方が進んだことは、ライフ・ワーク・バランス推進の一助となったのではないのでしょうか。

（松井真由美）

ご利用ください

男女平等参画相談員のご案内

男女各1名の弁護士が、男女平等参画に関わる人権侵害（セクハラ・マタハラ・パタハラ・DV・職場での性別による待遇の違いなど）についての相談をお受けします。

◆利用方法 平日午前8時30分～午後5時に相談・情報課（市役所2階☎0422-44-6600）へ直接または電話でご予約ください。

婦人相談員・母子父子自立支援員のご案内

専門の相談員がストーカーや配偶者などからの暴力（DV）等に関する相談に応じます。

◆相談日時 平日午前9時～午後5時

◆利用方法 子育て支援課（市役所4階☎0422-45-1151内線2754）へ直接またはお電話ください。

Shall we? 第71号 2020年9月発行

企画・編集：三鷹市企画部企画経営課平和・女性・国際化推進係
〒181-8555三鷹市野崎1-1-1

☎0422-45-1151（内線2115）

市民編集委員：荒武一紀、石井将直、島田さとみ、松井真由美

制作協力：樹文化工房

